

## 第44回校内弁論大会

### 堂々たる表現力

6月18日(水)第44回校内弁論大会を実施しました。

校内弁論大会は、日頃の学校生活を通して、問題意識を持ち、その中から高校生の視点で考え、自分の言葉で発表する。このような考える力及び表現力を養い、高校生としての知性の向上をねらいとしています。

またこの大会には、国語の授業を通して全校生徒が挑戦しました。各HR発表で代表を決め、その代表が学年大会で発表し、さらに10名の代表が全校生徒の前で発表しました。

多くの生徒が弁士の主張に真剣に耳を傾け、メモをとり、万雷の拍手を送っていました。人それぞれ多様な価値観があることに気づき、問題意識の深化を図り、自己をしっかりと見つめ、よりよい学校生活が送れるきっかけになったことと思います。

### 校内弁論大会の結果

最優秀賞	樋原一輝(3-7)	『Be Proactive』
優秀賞	照屋規真(2-9)	『一人一人の考えが違うのはなぜ?』
	豊元芽梨(2-6)	『「違い」と「社会」』
優良賞	古堅美優(1-1)	『電子書籍と本』
	翁長愛音(1-2)	『ありがとうの大切さ』
	宮城百(1-10)	『命』
	諸見琴乃(2-8)	『裁判員制度について』
	西里稚奈(3-6)	『見えない心』
	城間優(3-8)	『バリアフリーについて』
	新垣瞳子(3-10)	『JRの求めた損害賠償について』

※ 最優秀賞の樋原一輝さんは、9月に行われる「沖縄県高等学校総合文化祭 弁論部門大会」に学校代表として参加します。

「ヤバイ」

私は現在、やりたいことや取り組むべき課題が多すぎて、一日の時間が足りません。

留学前に読んだ「七つの習慣」という本の中で、「Be Proactive、積極的になる」という一言が、夢のない私に大きなヒントをくれました。

入学と同時に進学クラスに入った私は、のぼせ上がり優越感に浸っていました。その結果、当然のことながら私の成績はみるみる下がり、心の中は焦りと劣等感で一杯でした。何もかもに嫌気がさして、自分の殻に閉じこもることが楽に感じた私は、自信を失い、消極的で空虚な高校生活を送っていたのです。

消極的になると言うことは、ただ単に意欲を失うにとどまらず、人と人との関わりを持つことすらいやになり、社会に馴染むこともできず、行動範囲もどんどん狭まってしまうという負の連鎖です。そんな私が唯一楽しめたことは、ギターを弾きながら英語の歌詞で歌うことと、海外のアーティストについて友人と話すことでした。それらがきっかけで、海外への興味が深まり葛藤の末、海外留学を決心しました。

臆病だった私にとって、海外でのホームステイは不安が先行しましたが、留学へ行くことを友人に話した手前、後に引けなくなったのです。

留学の試験には合格したものの、出発までの間、全教科の評定が「4」から下がった時点で合格が取り消されるため、気が抜けません。また、膨大な課題に毎日睡眠時間を削って猛勉強を始めました。与えられた課題は、英語のスキルアップと、日本、そして沖縄の地理、歴史、文化、政治、経済全般を熟知することでした。特に沖縄についての学びは、生まれ育った故郷でありながら深く考えることがなく、米軍基地問題も合わせて学ぶ機会を得ました。その分野も、知れば知る程もっと知りたい欲望に駆られ、学ぶ楽しさを知るとともに、今まで自分がいかに無駄な時を過ごしていたのかを実感しました。私は時が経つのも忘れ、勉強に没頭しました。すると、成績はあっという間にアップし、結果がついてくるということも実感しました。後々この学習が留学で大いに生かされました。留学先のオーストラリアでは、日本からの留学生に興味を示し、日本について質問攻めに遭いました。私の立場は、外国の人にとって、私が日本を代表しているに等しく、留学生とは民間大使の役割も背負っているのだと責務を感じました。

到着早々、ホストマザーから掛けられた「アクティブになれ」の一言が、私の思考、行動の原点になりました。元々「苦しいことも楽しもう」と決意して出発した留学なので、辛かったという記憶は何一つありません。

渡航したその日から、私の中で毎日が帰国までのカウントダウンだったので一秒たりとも無駄にしたいと思いが強く、何事にも全力で、真剣に取り組みました。そんな私を、周りの人々は常に支援してくれ、深い愛情を注いでもらいました。私もまた、周りのすべての人々に愛情を持って接するうちに、一番身近な家族への感謝の気持ちが深まっていきました。そして、人と関わりを持つ尊さも知りました。

チャレンジする勇気があれば、自分自身の成長を促すことができ、己の限界をつくらないことが視野を広げ、ステップアップできるのだと私はこの留学から学びました。留学前は夢がなく、高校進学さえ渋っていた私の今の夢は、外交官になり、世界の国々で仕事をする事です。

内向き思考で広がる世界はないと思います。「Be Proactive」とは、一瞬一瞬の勇気と、積極性を出せば思考が変わり、人生も一転することではないでしょうか。失敗を恐れていては本当の自分とは出会えません。挑戦せずに後悔するよりも、失敗から学び少しずつ成長していく過程が大切だと思います。その過程で培うスキルが自分の可能性を広げてくれるのです。自分自身の可能性の広がりを実感することは、次の挑戦への原動力になり、様々な経験を積むことで、将来、社会での自分の役割を見出したり、自己の確立に近づくことで新しい自分に出会うことができます。そこでやはり、積極的になり一人一人が様々な分野で輝く人材になるべきです。普通に生きるのでは何も楽しくありません。人間は社会の中で個性を発揮し、誰も真似できない人生を送るべきだと思います。

「Be Proactive」